

特集

目次

- 02 特集
心もてなすふるさとの祭り
- 12 町国民健康保険の医療費
- 14 第5回さつまフェスタ
- 15 第5回町内一周駅伝競走大会
- 16 まちのニュース
- 24 宮都大橋の架け替え工事に伴う
迂回路の通行について
- 25 川内川激特
鶴田ダム再開発速報
- 26 暮らしの情報
- 29 シリーズ
がんばれ認定農業者！！
- 30 ひと仕事（さつまに生きる）
- 31 誕生・おくやみ
1歳で～す
こんにちはは保健師です
- 32 人・夢
- 32 休日在宅医・薬局

心もてなすふるさとの祭り

人がきらめき地域が輝く

おかえりなさい
わがふるさと 杵野



第5回
さつま町駅伝競走大会



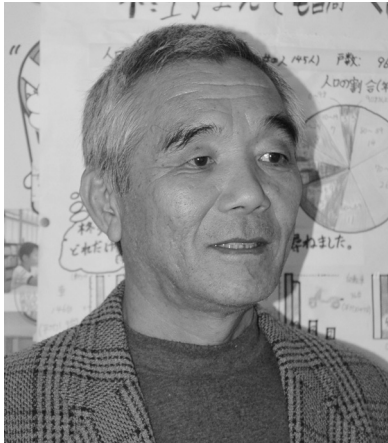
■表紙の写真

宮之城屋地船木チーム、第5走者 高岩亜紀さん（子）から第6走者 高岩宗浩さん（父）へ「お父さん頑張って！」のメッセージを添えてのタスキリレー。

P15関連記事

中山 敬志 さん

柘野区公民館長



今年で11回目を迎えた、ひがんな祭りの始まりは、旧宮之城町で持ち回りで行われていた、「レン

きっかけはレンゲ祭り

町内では、地域が発信するイベントが多くあり、その大半は地元に住む人々によって成り立っています。柘野地区の「ひがんな祭り」もその一例です。人口約250人のこの地域に、祭りの日になると数倍もの人々が押し寄せるその魅力は、地域の「もてなしの心」にあるのではないのでしょうか。今回は、柘野地区で取り組む「ひがんな祭り」に注目してみました。

もてなしの心を追う

「ゲ祭り」でした。この地区でレンゲ祭りを行った後に集客の手ごたえを感じ、区民の皆さんが日頃から感じていた、人口減少の一途をたどるこの地区をどうにかしたいとの思いが、ひがんな祭りを興すきっかけとなりました。元々この地区の皆さんは、結束力が強く、何をするにもそれぞれの役割分担がしっかりとできていることが、イベントをスムーズに運営できる良い点だと思います。春には、ひがんな花の球根を植栽し、夏には草刈作業と区民総出でイベント当日のために準備を進めて来ました。祭りも回を重ねるごとに、伝統芸能の披露や弁当の準備などを行

い、第5回目にはフォトコンテスト、第10回目には、鹿児島市の「リトルチェリーズ玉江」を招待したり、今回はウオーキング形式を導入したり、工夫を凝らしてきました。また、過去にはお客さま用の弁当が不足し、いったん区民の方には販売した弁当を買戻したこともありました。さらに、来場されるお客さまのために、抽選会では区民の方には参加を遠慮してもらったりしています。今後は柘野地区でも益々、高齢化が加速していくと思いますが、15、20回目を目指し、区民総出で祭りを盛り上げていきたいと思っています。

—柘野地区DATA—

